地区・関係会社対抗大会



７月１９日（土）、各地区や関係会社の代表選手が団体・個人で競い合う標記大会が伊久美川で開催されました。
曇り空の中で水温も21℃とやや低く、表彰式では土砂降りの雨に見舞われ、進行を中断するアクシデントもありました。この大会の１尾あたりの平均重量は39.2ｇ、平均年齢は60才でした。

＜地区の部＞　優勝：島田（908ｇ、23尾）２位：川根（816ｇ、22尾）３位：金谷（809ｇ、20尾）
＜関係会社の部＞　優勝：特種東海Ｂ（1,015ｇ、27尾）、２位：特種東海Ａ（796ｇ、19尾）３位：中部電力（609ｇ、16尾）
＜個人の部＞　優勝：羽入和雄（443ｇ、10尾）
２位：上田光雄（303ｇ、８尾）３位：平口敏幸（253ｇ、６尾）４位：榊原卯一（242ｇ、６尾）５位：大中一馬（242ｇ、６尾）６位：兵庫正弘（242ｇ、６尾）
７位：永橋久志、８位：宮脇政一、９位：望月保宏、10位：西畑和也　**※同重量の時は尾数、高年齢の順による。**

伊久美川魚道の改善を要請

10月17日、当組合の長年の課題である伊久美川魚道の改善に向け、伊久美川を横断するサイフォンの管理者である大井川用水管理委員会、あわせて施設所有権を有している農林水産省、関東農政局大井川用水農業水利事業所にも要請しました。

この先交渉の困難が予想されますが、第一歩を踏み出しました。皆さんの応援をお願いいたしします。

鮎の発眼卵放流を実施します。

（時期）１２月１１日（予定）
（場所）谷口橋上流
（数量）約３００万粒（マット３０枚）
（設置期間）７～１０日
期間中はマットを揺すり、付着物を除去します。



平成26年度 事業活動あれこれ



↑たくさんの子供たちが大井川の生き物と触れ合いました。

↓今年は春～秋までたくさんの川鵜が確認されています。

